

# 第1回 まちづくり市民ワークショップ グループ別検討内容の記録

開催日：平成24年7月21日（土）及び7月28日（土） 午後1時30分～午後5時 会場：田無庁舎 502・503 会議室

## 1. グループ意見

【①グループ】【主な検討領域：教育・文化・スポーツ】【参加者：第1日目5名、第2日目5名】

視点		個別の意見	課題のポイント
教育【主に子どもを中心として】	中学校の学校給食	良い所 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校で給食が始まったことは良い(親子給食は現状ではやむを得ない)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの栄養や食育の観点で学校給食は重要</li> <li>○必要に応じて給食への経済的な支援が必要</li> </ul>
	子どもの居場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区会館は共有スペース不足で子どもと大人が取り合いになる</li> <li>・子どもと地域の大人がふれ合う機会が少ない</li> <li>・地域ごとに子どもの居場所が欲しい。児童館がない地域がある(偏在している)</li> <li>・子どもたちが自由に遊べる場所が少ない</li> <li>・親切なおじさんが不審者になってしまう</li> <li>・学童クラブ、児童館は、スタッフの育成(制度的なもの)に注力を</li> <li>・交番が少ない。子どもの登下校時の安全確認に不安なので、交番の配置を</li> <li>・児童館(センター)などが増えてきている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学童クラブや児童館の施設数の問題もある</li> <li>○これら施設を運営するスタッフの労働環境(雇用問題)が重要</li> </ul>
	学校選択制	改善が必要な所 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校選択制は見直すべき。偏りがある</li> <li>・小中学校の学校選択制度は廃止したほうが良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの地域に対するつながりが薄くなる(選択した学校と生活圏との不一致)</li> <li>○ただし、やむを得ない事情で学校選択の余地は残しておくべき</li> </ul>
	学校図書館の司書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館の整備(司書の配置)をすべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校図書館をきちんと機能させるために司書の配置が必要</li> </ul>
	命(人権)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が学ぶということは、学校教育や社会教育の区別でなく、自主的に学ぶことが先ず問われなければならない</li> <li>・いま、子どもの自殺の事件から、“子どもの権利”についてきちんと押さえるべきだ。当市でも条例が作成されかけてストップした経過がある(いじめ、人権)</li> <li>・命を大事にすること</li> <li>・それぞれの人権が守られること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「一人ひとりが輝く」という基本的な考え方が重要</li> <li>○教育において命の大事さや権利を守る意識が重要</li> </ul>